

市の概要

アウクスブルク市は紀元前 15 年にローマ人により建設されました。中世には通商路の都市として発展を続け、自治権や貿易の自由を持つ自由都市の時代を経て、ルネサンス期にはヨーロッパ経済の中心地として栄えました。

人口は約 30 万人、面積約 147km²であり、1 年の平均気温は 7.8℃程度で夏でも比較的涼しい気候です。日本からは飛行機で約 12 時間掛かります。



ドイツ・アウクスブルク市

ディーゼルエンジンの開発をきっかけとして、1959年に姉妹都市提携を結びました。金融都市、工業都市として栄えてきたロマンチック街道最古の都市です。

工業

アウクスブルク市は工業都市として歴史的に重要な地位を占め、特に紡績業が盛んでした。現在も機械、航空、IT 産業など大規模な工場があります。姉妹都市提携も工業のつながりです。アウクスブルク市は自動車や船舶に使用されるディーゼルエンジンの発祥の地であり、尼崎市に工場のあるヤママディーゼルの創業者の山岡孫吉氏が、1957年に日本石庭苑を贈呈したことが都市提携の機縁となっています。



特産品など

アウクスブルガー・プッペンキステ

1943年に設立された人形劇団であり、テレビ放映もされてドイツ全土で大人気です。木製の操り人形が6000体以上もあり、全て手作りです。

2006(平成18)年と2009(平成21)年に尼崎市を訪問し、公演を行いました。



「ブレッツェルと白ビールと一緒に食します」



白いソーセージ・ヴァイスブルスト

ソーセージの製造が盛んなドイツでは種類1500以上あり、中でもヴァイスブルストは南ドイツ料理の一つで新鮮な肉を香草と共に豚の腸詰めしています。

観光名所

アウクスブルク市庁舎・黄金の間

1615年～1620年にかけて建築され、ドイツ・ルネサンスの最高傑作といわれています。市庁舎の3階には帝国会議が開かれていた2.7kgの金で装飾された「黄金の間」があり、天井には施政者のモラルなどを説いたフレスコ画が描かれています。

モーツァルトハウス

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトの父、レオポルト・モーツァルトの生家があります。現在はモーツァルト一家の記念品を展示しています。



姉妹都市交流

尼崎市青年使節団

1972(昭和47)年から、18歳～29歳の尼崎市民をアウクスブルク市に隔年で派遣しています。ホームステイ体験や、学校園や福祉施設、環境システムなどさまざまな施設の視察を通して、アウクスブルク市民の方々と交流し、また、それぞれのテーマで調査・研究を行っています。



アウクスブルク市青年使節団

1971(昭和46)年から10代～20代のアウクスブルク市民の青年団を隔年で受け入れています。ホームステイ体験や、尼崎市の歴史・文化施設、日本の平和施設などさまざまな施設の視察を行っています。受け入れ時には尼崎市内の高校や市民団体の皆さんもおもてなしをしていただき、交流を行っています。



記念品の交換

アウクスブルク市と尼崎市では、提携の周年記念などで記念品の交換を行っています。アウクスブルク市からはストーン・レリーフや噴水、歴史的なガス灯が贈られ、尼崎市からは日本庭園や石の像、絵画、茶碗などを贈っています。アウクスブルク植物園内のその日本庭園では現在でも日本春祭りが行われ、餅つきや太鼓、書道などが披露されて多くの人が日本の文化を楽しんでいます。

